

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第1回川島町総合教育会議	
開 催 日 時	平成29年4月28日（金）午前11時から	
開 催 場 所	川島町役場 第2委員会室	
議 題	(1) 統合小学校の校章応募優秀賞の選定について (2) 統合小学校の校歌制作方針の決定について (3) その他（報告） ① 統合小学校の校歌制作依頼者について ② 閉校記念式典の日程について ③ 学校統廃合に伴う課題等に関する公民館関係役職員との意見交換会について	
公開・非公開の別	公 開 ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	構成員	飯島和夫町長・志村 宏副町長・中村正宏教育長・ 菊池建太教育長職務代理者・福島彰教育委員・ 及川三栄子教育委員・猪鼻恵美子教育委員
	事務局職員	石島一久参事・伊原郷史室長・柴生田英香主査（以上政策推進課）、石川 勉教育総務課長・粕谷克己理事・坪内嘉夫室長（以上教育総務課）、内野修一課長（以上生涯学習課）
配 布 資 料	会議次第 資料1-1・1-2・2・3・4・5	
審議会等の内容・概要		
<p>1 開 会</p> <p>（司会より会議の開催にあたり、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。会議録については、発言委員名を記載して公開する旨で構成員より了承を得る。）</p> <p>2 あいさつ 町長</p> <p>3 議 事</p> <p>町 長：本日の会議の議事については、個人情報を特に取扱っていないので公開と</p>		

し、会議録の作成は、発言者の名前は記載し、要点をまとめて記録します。最後に、会議録の署名は、菊池委員を指名します。

教育委員：異議なし。

町 長：事務局に質問しますが、傍聴希望者の状況はいかがですか。

事務局：傍聴者の定員が8名のところ、希望者はいませんでした。

町 長：今、事務局から報告がありましたが、本日の傍聴者はいません。このまま議事に入りますがよろしいでしょうか。

教育委員：異議なし。

(1) 統合小学校の校章応募優秀賞の選定について

(事務局にて、資料1-1を用いて説明)

町 長：今回、教育委員会で良いと考えた作品を3点選んでいただいたわけですが、ただいまの説明で、選定された作品は、いずれも「つばさ」という校名に込めた「子供たちの将来への期待感」や「町の発展性」が表現されていることは分かりました。さて、教育委員の皆さんは、校名に込められた理由や思いなどが、3点の作品に、どのように表現されていると思ったか、あるいは、どのような点が良いと思ったのか、また今後この2校が更に統合される可能性も視野に入れて、お一人ずつ述べていただければと思います。では、菊池教育長職務代理者からお願いします。

菊池委員：3番の案は、開いたつばさが校名を表している良いと感じました。また町の花である花菖蒲もあしらわれていて良いと感じました。18番の案は、中央の丸みが地球儀だということもよく分かり、先端の尖りが飛び立つイメージであることも分かります。「南小」「北小」の表示は、やや付け足したような印象を受けます。19番の案は、3案のなかで一番躍動的なイメージを強く感じます。中央の「南」「北」のバランスがやや悪い気もしますが、これが一番良いと感じます。

福島委員：3番の案は、小学校の「小」の文字を花菖蒲に置き換えたり、つばさの羽ばたきを表しているのは良いけれど、花菖蒲がやや重い印象を受けます。18番の案は、つばさを広げて世の中に出てほしいというイメージを感じます。地球儀を表しているのも分かりやすいです。全体的なバランスも良いですが、つばさが下向きに下がっているのが気にかかります。19番の案は、つばさを広げるイメージが目見て分かります。子どもたちが世界へ羽ばたいていくというイメージを感じやすいです。今後更に2校が統合されることを加味すると、図案中のローマ字表記を大

きくし、「南」「北」の文字を小さくすれば、将来的に「南」「北」を削ってもバランスが良く、とても斬新な案だと思います。

及川委員：3番、19番の案については、菊池委員、福島委員のご意見と同様です。

私は18番の案を推したいと思います。つばさが下に向いていることで、まさに今飛んでいるという動的な印象を感じます。19番の案はつばさが上に向いている分、立ち止まっているような静的な印象を感じます。18番の案のほうがスピード感があり、また中央に描かれた地球儀が鳥の胎内エネルギーを表しているように感じます。口ばしの尖りも、アンテナが先へと向かっているように思います。また「南」「北」の文字が日本語であるのも良いと思います。将来的に2校が統合したときに「南」「北」を削ることもできますし、全体的にグローバル感を受けます。

猪鼻委員：3番、19番の案については皆さんと同じ意見です。私も18番を推したいと思います。この度英語検定の受験料を補助する事業が始まったことなど、子どもたちがもっと英語力を身につけて、世界へ羽ばたいていくという思いが伝わってきます。

町長：中村教育長、補足をお願いします。

教育長：3番の案については、花菖蒲の色合いがやや気にかかります。また図案内に「TSUBASA」の表記があるとよかったと思います。18番の案については、スピード感を受けます。19番の案については、パワフルさを感じます。いずれも良いデザインだと思いますが、町長のご意見も伺いつつ、最終的な判断をしていければよいかと思います。

町長：ありがとうございます。新しい学校の校章に対するみなさんの思いをお聞きし、どれもそれなりに意義があって、まったくその通りだと思います。しかし、この会議は、町長である私と教育委員会との協議の場ですので、町長である私からも、新しい学校の校章について、少しだけ考えを述べさせていただきます。3番の案については、この案を見て「花菖蒲」と受け取れるかどうかやや疑問を感じます。私の思いとしては、外国籍の方が見てもイメージを連想させるような案が良いと思うので、18番の案が良いと感じました。この図案は、将来的に2校が統合されたときも「南」「北」の文字を削れますし、外国籍の方が見ても地球儀を表していることが分かりやすいと思います。

菊池委員：確かに、19番の案は「南」「北」の表示を削ると真ん中が空いてしまいます。

教育長：19番の案は、口ばしの部分が「南」の文字に重なってしまっており、この案にするのであれば、やや修正が必要だと思います。

及川委員：デザインを修正することは、発案者に対して失礼にあたる気もします。表現の世界では、上に開いた様子は下方に意識を向けていることを表し、下に開いた様子は上に意識を向けていることを表します。更に、下の部分は「基盤」を表しており、18番の案は下の部分にしっかりと日本語で「南小」「北小」と描かれています。この日本語が削られたとき、子どもたちが世界に飛び立つ様子も想像でき、とてもよくできたデザインだと感じます。

町長：教育委員会の皆さんのご協力で、「つばさ南小学校」及び「つばさ北小学校」の校章は、応募作品番号18番とすることで、意見がまとまりました。

(2) 統合小学校の校歌制作方針の決定について

(事務局にて、資料2を用いて説明)

町長：ただいまの説明で、この方針(案)は、若い感性、未来志向を基調としつつも、一方では、地域性なども校歌に取り入れることが分かりました。しかし、これらの概念は一見両立しがたいようにも思えます。この方針に基づいて、実際に校歌を制作していけるものなのか。事務局に説明を求めます。

(事務局にて、補足説明)

町長：分かりました。未来志向と地域性の融合はとても難しいように思えますが、気持ちが明るく前向きになれる歌をお願いしたいと思います。子供たちだけでなく地域の皆さんにも親しまれ、歌い継がれる歌にしたいという方針は、まったくその通りだと思います。そのためには、様々な期待や思いを歌詞や曲に表現する必要があります。本当に困難な作業だと思いますが、それをできる方に依頼することなので、ぜひお願いします。では、教育委員の皆さんから、新しい校歌に対する思いを、お一人ずつ述べていただければと思います。では、菊池教育長職務代理者からお願いします。

菊池委員：昔からよくある校歌は七五調ですが、今回制作する校歌はこれからの若い人たちの感性に合うようなものがいいと思います。その中に地域性を織り交ぜてほしいと思います。

福島委員：これまでの校歌は、地域性や風景、歴史などが歌詞に入っており、地域に根ざした人が作っていました。このたび、明治から続く歴史ある、地域性の強い4

校がそれぞれ統合することとなり、敢えてとても斬新な校名をつけました。それに伴い、校歌は地域活性化の起爆剤となるような、創造的進化を遂げられるようなものにしてほしいと願います。校歌制作方針にあるとおり、親しみやすく歌い継がれるものを制作してほしいと思います。

及川委員：小学校らしい校歌、校章に見合った校歌を作してほしいと思います。歌詞についても、心を一つにでき、仲間意識を感じられるものが良いと思います。曲調は、子どもたちが世界に羽ばたいていくことを意識して、メロディアスでグローバルで将来への発展への可能性を感じられるものが良いです。そして、曲調と歌詞がピッタリ合う校歌にしてほしいと思います。

猪鼻委員：夢が持てるような校歌が良いと思います。校名・校章のように斬新でかつ地域をうまく取り入れてもらいたいと思います。

町長：中村教育長、補足をお願いします。

教育長：未来志向と地域性の融合、一見相反するテーマに感じますが、上手に取り入れられる人を想定して校歌制作にあたってほしいと思います。140年続く4校それぞれの歴史が、将来的に一つに合わさるような、そんな校歌を制作してほしいと思います。

町長：ありがとうございます。これまで小学校の卒業式などで校歌斉唱を聞き、その後卒業式の歌などを聞くと、曲調が全く変わり、時代の変遷を感じます。新しく制作する校歌は、子どもたちが歌いたくなるようなものにしてほしいと思います。また、歌詞を翻訳したとき、外国籍の人にも歌詞の意味が理解できるような歌詞にしてほしいと思います。ただいま皆さんからいただいた意見から、委員それぞれ相通ずる思いがあることが分かりました。そこで、統合小学校の校歌制作方針は、この案のとおりとすることで意見がまとまりました。

(3) その他（報告）

① 統合小学校の校歌制作依頼者について

町長：統合小学校の校歌制作依頼者について、事務局に報告を求めます。

（事務局にて、資料3を用いて説明）

町長：この依頼者は、校歌の制作だけなのでしょうか、それとも歌を歌ってくれるのでしょうか。できれば子どもが聞きやすい声質が良いと感じているのですが。

事務局：両校歌の制作だけでなく、歌入れをし、CDで納品されることとなっていま

す。

町 長：今後2校が統合したとき、校歌の修正などは問題ないのでしょうか。

事務局：今回そこを踏まえて、同じ歌詞、同じ曲としております。今後2校が統合したとき、校名の箇所を修正してもらえることも確認しております。

町 長：いい校歌を期待しています。

② 閉校記念式典の日程について

町 長：閉校記念式典の日程について、事務局に報告を求めます。

(事務局にて、資料4を用いて説明)

町 長：閉校記念式典は、児童はもちろん学校の先生方に止まらず、地域住民の皆様にとっても、重要な行事だと思います。心配りをしっかりとした取り組みをお願いします。

③ 学校統廃合に伴う課題等に関する公民館関係役員との意見交換会について

町 長：学校の統廃合に伴う課題等に関する公民館関係役員との意見交換会について、事務局に報告を求めます。

(事務局にて、資料5を用いて説明)

町 長：地域の方から納得を得られるよう進めていきたいと感じています。

町 長：委員の皆さんのおかげで、会議がスムーズに進行しました。これにて議長の座をおり、進行を事務局にお返しします。

教育総務課長：次回の開催日時は、6月26日(月)に行いたいと思いますがいかがでしょうか。

委 員：異議なし

4 閉 会 教育長

署

名

菊池建太